

「月刊」ラストは、「古民家」「KuMA」2大特集！ 熊本の元気人が勢ぞろいです

平成27年12月16日発行（毎月1回・16日発行）
平成14年9月19日第3種郵便物認可

mocos

モコス
2016
JANUARY
480
yen

1
NO.180

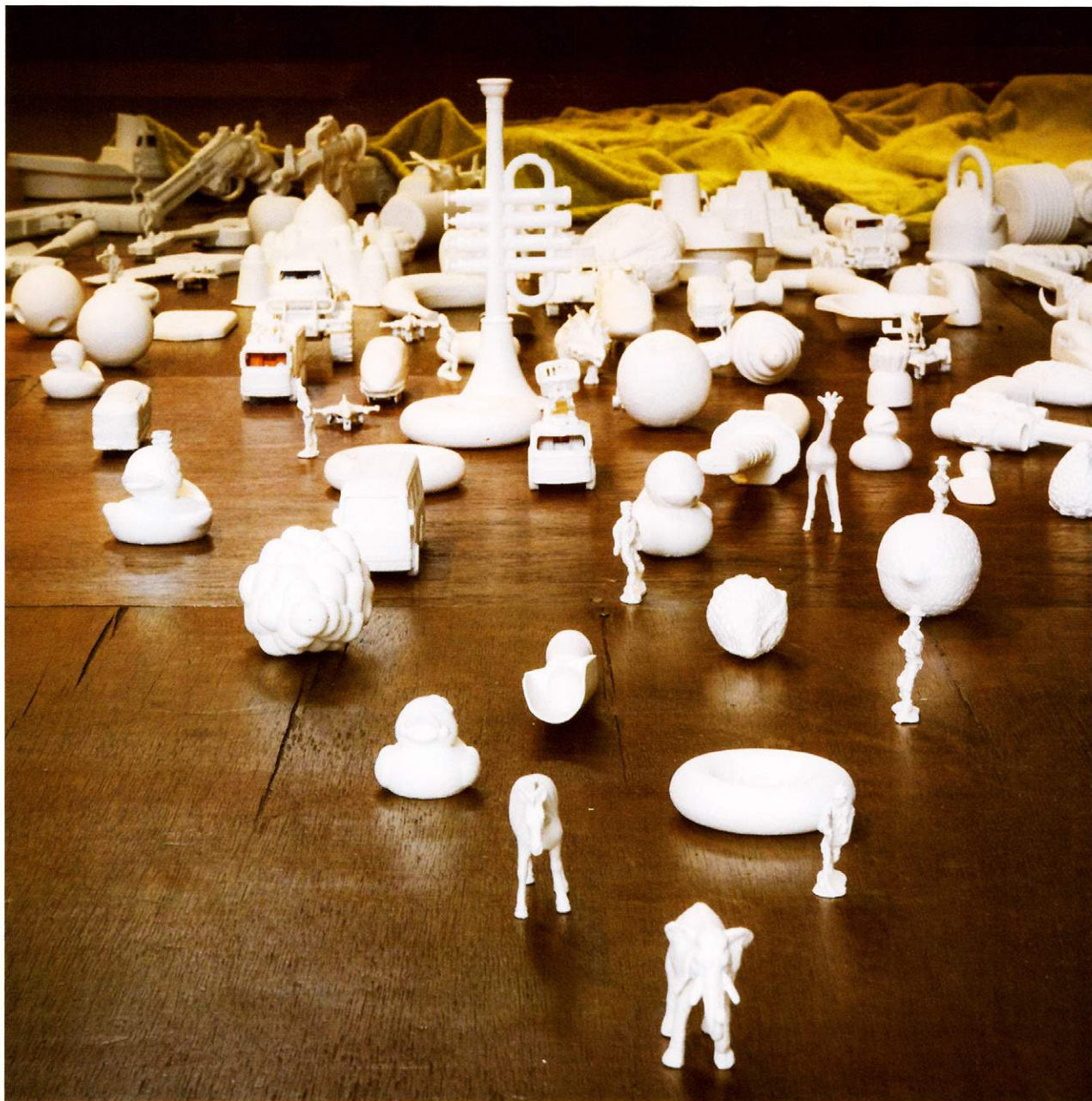
そこにある、心が「ほっ」とする時間

守り・つなげる 

熊本の 古民家

夢をカタチに。
未来につながるKuMA
-くまもとモダンアート-

あなたの想いを満たす
女性に優しい家づくり



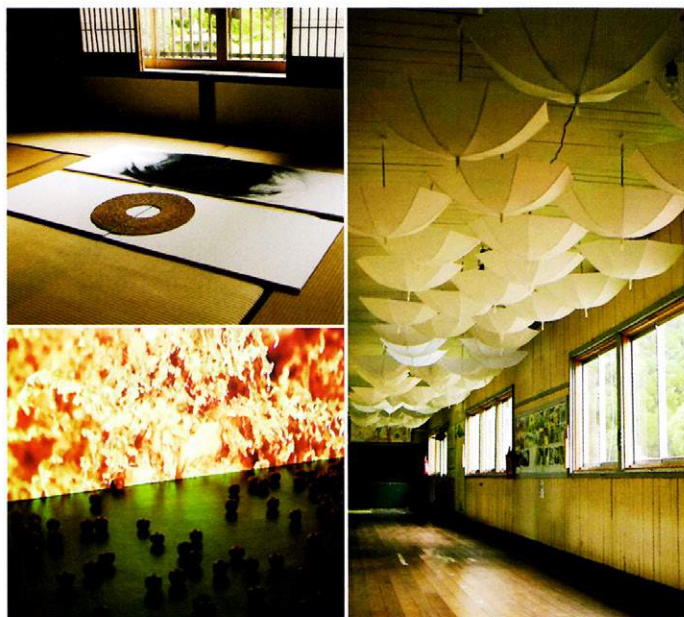
Works

Epiphany

電車、車、ヤカン……大人が使うモノをかたどったおもちゃが無数に並ぶ「Epiphany」。カラフルなおもちゃが色を失うことで、“物心がつく”という子どもの成長を表している

by Shimojo Kenichi





【左上】「内なる森・外なる森」2012年、和木町「肥後民家村」【左下】「夜という場所に行く」2015年、熊本市「崇城大学ギャラリー」【右】「子供の情景」2014年、高森町「阿蘇フォークス学校」



【上】まるで隕石のような「蓮の花床」は、木さんお気に入りのモチーフ。オブジェは大学時代から造り続けている作品。3,000円～【右下】海岸の目の前のアトリエ。集中力高まる空間【左下】自ら改装を手がけたアトリエでは個展も行われているそう



Artist

Shimojo Kenichi

美術家 下城 賢一さん

1972年八代市生まれ。東京芸術大学大学院修了後、ドイツ・デュッセルドルフクンストアカデミーに留学。2006年帰国。現在、崇城大学芸術学部非常勤講師を務めながら作品を制作

問い合わせ

MAIL aufziehvogel@i.softbank.jp

information

「Genesis起源展」@高森町「フォークス学校」

2016年夏開催予定 アーティストが滞在しながら作品を制作するアーティスト・イン・レジデンス

2016年5月開催予定「OVAL展2」(場所は未定)



Artist

Shige Yuko

陶芸家 木 ユウコさん

1986年熊本市生まれ。倉敷芸術科学大学卒業後、天草「丸尾焼」に入社。約4年の修業の後独立し、上天草市にアトリエを構え、天草陶石を使った器やオブジェを制作している。

問い合わせ

Facebook 「木ユウコ」で検索

Instagram 「SHIGEYUKO.PORCELAIN」で検索

空間と作品とが響き合う
想像力が沸き立つ
現代アート

作家の世界観を五感で捉えることができるインスタレーション。さらに、展示する空間の持つ空気感、歴史をも作品に反映させるのが下城賢一さんの表現スタイル。ギャラリーはもろろん、廃校になった小学校、江戸時代の古民家、空家……。同じテーマの作品でも、その場の雰囲気や溶け込み、また違った印象になるという。「アイデアの発想は日々の生活の中から。子どものオモチャを並べた「Ephyphany」も、子どもが物心が付く」ということを目に

輝く海の天草から届く
可愛くも
可衛的な作品たち

ぼわんとした可愛らしさの中に、どこか尖った印象を受ける……それが独立して3年のまさに新進気鋭の陶芸家・木ユウコさんの作品から受ける印象だ。「可愛いのもいいんですが、だけじゃない感」を出したくて。形はシンプルで使いやすいものを、そのかわりサイドに絵を付けてアクセントにしています。「独創的な絵柄ながら、青・グレー・黒色を使った統一感が普段使いにもしっくりくるデザインで人気が高い。修業先の「丸尾焼」から独立した木さんは、

How to Buy

Nothing

える形にしたもの。僕自身子どもを持ったからこそ生まれた作品です」と穏やかに語る。また、絵画や彫刻に比べれば難解なイメージがある現代アートを、地域の人々とふれ合い、より身近に親む「アーティスト・イン・レジデンス」にも積極的に参加。高森町「フォークス学校」で開催される「Genesis起源展」に取り組み、熊本でも現代アートに気軽に触れられる機会を作っていきたいと語ってくれた。

How to Buy

「vertigo」
Tel. 096-245-6886
熊本市中央区内坪井町
1-67ホルンハウス101
10:00~20:00
休木曜 日4台
カード利用可

現在上天草市に移住し、海沿いのアトリエで天草陶石を使った磁器の制作を行っている。「海が目の前にあるという環境を選びました。自然や宇宙をモチーフにすることもあって、眺めているうちに柄に見えてくるんです。それを器に投影させたりしていますね」。ふわふわとした印象ながら創り手としてしっかりと芯を持った木さん。その瞳の先にどんな世界が広がっているのか今後が楽しみです。